

令和6年2月29日

学校だより



3月号

横浜市立美しが丘東小学校
学校長 藤本 光子

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/es/utsukusigaokahigashi/>

素敵なおいさつ

校長 藤本 光子

寒暖の差が激しい日が続き、学校の草木たちもいつ芽吹こうかと迷っているようです。体調を崩しやすい気候ですが、皆様も十分お気を付けください。

一年は早いもので、今年度、最後の学校だよりとなりました。一年間、保護者の皆様、地域の皆様、ボランティアの皆様には様々ご協力いただき、本当にありがとうございました。

先日、ある地域の方が「学校だよりを読むのが楽しいです。」と声をかけてくださいました。何よりもまず、目を通してくださっていることに感謝です。また、保護者の方々や他校の先生までも、学校だよりについて身に余るお言葉をかけてくださり、恐縮しております。

「3月号に何を書こうか迷います。ハードルがどんどん上がって…」と、その方に話すと、「いえいえ。これまで通り、感じたことをありのままです。」と笑って励ましてくださいました。

確かに、いつもお言葉をいただくたびに思うのですが、もしも私の文章に目を留め、心を動かしてくださったなら、それは私の文章がよいわけでは決してなく、その方の心がしなやかで、他者の考えを受け入れられる柔軟さ、豊かな想像力や共感力、高い理解力をおもちなのです。

ですから、そのようなみなさまのお力に甘えることとして、私はいつも通り、自分の心に残ったエピソードを書かせていただきます。

先日、昇降口で下校の見守りを行っていると、一人の1年生の子が寄ってきました。

「校長先生、今までありがとうございました。」その子は深々とおじぎをしました。

あれ、転校するのかな・・・聞いていなかったな、そう私は心の中で思いながら、かける言葉がすっと出てこず、とりあえず、その子に合わせて深くおじぎをしました。お別れかと思うと胸が詰まりました。

ですが、その後、こう続きます。

「あと4週間で1年生が終わります。ありがとうございました。」

「・・・？」

「その次は2年生になるから。またよろしくお願いします。」

なんと、進級のあいさつのフライングだったのです。いじらしいのと、ほっとしたので私も顔が緩み、

「2年生も楽しみだね!」とようやく言葉で返すことができました。

その子は、いつもは私とはあいさつを交わすぐらいで、積極的に話しかけてくるわけではありません。ただ、この進級のあいさつはしておかなければ、と思ったのでしょうか。

こんな素敵なおいさつがもらえるのです。だから、子どもと触れ合うことはやめられません。けなげさ、素直さ、純粹さ、美東小の子どものそんな一面に出会うたびに、美東小の校長であることを幸せに思います。そして、これからも子どもを見つめ、幸せを感じることができたい、そう強く思っています。